

このようなことを総合的に考えますと、空き家問題と区画整理的な道路の整備、あるいは宅地開発的な考え方を一つにくくるのは、難しいかと思っています。

青少年育成団体等への支援について

議員 少年野球、陸上、聖太鼓等の青少年育成団体、中学部活動の継続、活性化のために指導者育成・確保等に関する支援を含めた総合的な支援体制の必要性を感じているが、教育長の見解は。

教育長 少年野球や陸上など社会体育、聖太鼓などの文化活動については地域の方が長年ボランティアで指導をいただいています。

ただ、この活動は自発的な取り組みであり、指導者確保の問題や運営の問題は各団体の自主性にお任せしています。施設設備等については対応しています。

部活動については、昨年度から部活動検討委員会を

立ち上げ、外部指導者の方を交えて今後の部活動の在り方について検討を重ねています。

指導者の費用についても、今後の国の方針を確認しながら取り組んでいきます。

イノシシ対策について

藤瀬 都子

議員 ①鳥獣類による被害に対して町としての条例は制定されているのか（例えば、通院・入院・見舞金など町民に対しての補償など）②町として専門家の指導に基づき農の増設をされたがその結果は。

総務課長 ①鳥獣類に対する町としての条例等は制定していません。

現在、町が加入している保険は、町が所有、使用、管理する施設の瑕疵及び町の業務遂行上の過失に起因する事故について、町が法律上の損害賠償責任を負う場合の損害に対して、保険金が支払われる全国町村会総合賠償補償保険制度とい

う保険と、地区での清掃作業時の事故等に対応した自治会保険であり、これらの保険では鳥獣、スズメバチや毒蛇等の被害に対する補償はありません。

農林建設課長 ②今年3月22日にイノシシによる人身被害が町内で発生しました。

町民の安心・安全を図るため、地元猟友会の了承も得て専門家に捕獲業務を委託。翌日午後に専門家が現地踏査を行い、私有地周辺でねぐらを発見し、痕跡から行動範囲が狭いなどの生息状況が確認されました。

それを受けてくくり農5台を設置。4月5日、くくり農にかかっているイノシシを確認し検証した結果、私有地周辺で生息が確認されていた全長約130cmに近いサイズのイノシシが捕獲され、その後、現地調査を継続して行い、4月5日以降、地面の掘り起こしなどの被害がぱったりと治まり、生存痕跡もなくなつたため加害個体と特定しました。

今後も捕獲については、猟友会と連携し、地域が一体となって防除対策に取り組むなどの体制整備を図っていきます。



▲町内の山間部で捕獲されたイノシシ

ピロリ菌と特定健診・がん検診について

議員 ①中学3年生対象のピロリ菌検査の状況について。

②胃がん検診で75歳以上の方にピロリ菌検査の必要性は。

③特定健診受診率アップの取り組みについて。

子育て・健康課長

①佐賀県で実施されている未来へ向けた胃がん対策推進事業は、県内全ての中学校を対象にピロリ菌検査が実施されており、ひじり学園でも保護者が検査に同意した生徒に対して検査が行われています。この検査は、健康診査とは別の任意の検査であり、検査結果は保護者に直接通知されています。個人情報取扱い上、町では、検査を受けた生徒名やその結果等の情報を把握していません。

このため、町として検査未受診者に対する対応は行っていませんので、県内の取り組み状況でお答えさせていただきます。

令和元年度、佐賀県内の中学3年生91%、令和2年度93%、令和3年度93%の生徒が検査を受けています。令和4年度も対象107校、8254人、そのうちの7568人92%が受けているとのことですので、ひじり学園の中学3年生に該当